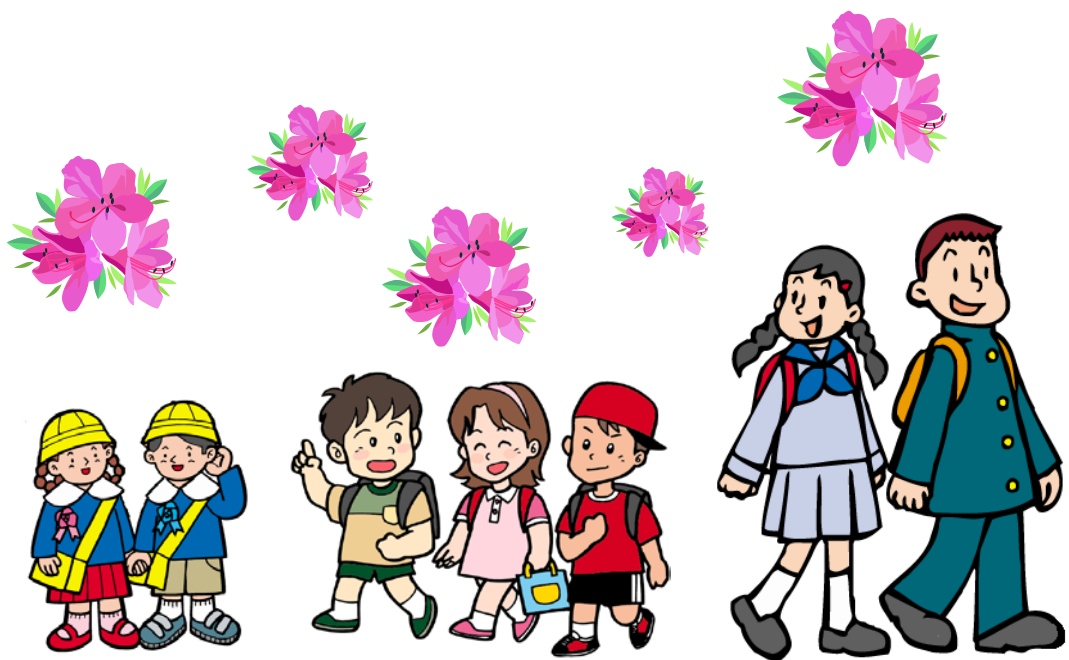


柏原市の幼小中一貫教育



平成 21 年 1 1 月

柏原市教育委員会

目 次

第 1 章 幼小中一貫教育のめざすもの	2
---------------------	---

- (1) 柏原市の一貫教育
- (2) 柏原の子どもたちの現状
- (3) 幼小中一貫教育のねらい

第 2 章 基本方針と実施計画	4
-----------------	---

柏原市における幼小中一貫教育の進め方

【幼小中一貫教育基本方針 ～取り組むべき 5 つの方向性～】

【実施計画 ～幼小中一貫教育基本方針を実現するための 15 の施策～】

第 3 章 幼小中一貫教育の取組の一例	6
---------------------	---

第 4 章 幼小中一貫教育を推進するための新しい学校運営体制とスケジュール	7
---------------------------------------	---

- (1) 新しい学校運営体制
- (2) スケジュール

(1) 柏原市の一貫教育

平成18年12月に内閣府の「『生きる学力育成』小中一貫教育特区」認定を柏原市として受け、本市の一貫教育の取組は堅上地区でスタートしました。その後、市域全中学校区での一貫教育校設置にむけ準備を進めてきました。

【概略】

- 平成18年12月：内閣府「『生きる学力育成』小中一貫教育特区」の認定
- // 19年 4月：堅上小中一貫校 開校
- // 19年度 : 「柏原市小中一貫教育検討委員会」 設置
- // 20年度 : 「柏原市幼・小・中一貫教育検討委員会」 設置
- // 21年 3月：「生活とまなびの幼小カリキュラム『あんじょう』
～なめらかな接続をめざして～」 作成
- // 21年度 : 「柏原市幼小中一貫教育推進委員会」 設置

(2) 柏原の子どもたちの現状

平成19年度から、およそ40年ぶりに再開された全国学力学習状況調査の結果より、柏原の子どもたちは、日常生活に必要な基礎・基本的な学習内容は概ね理解できていますが、学習した事柄を生活の様々な場面で活用する力や考えをまとめて表現する力などが充分ではないことが明らかになりました。

また、生活習慣や学習習慣がしっかりとは身につけていなかったり、学年が上がるほど学習に対する意欲が低くなる傾向が見られました。

(3) 幼小中一貫教育のねらい

平成20年6月に制定した「かしわらっ子はぐくみ憲章」は、今までの柏原の教育を総括するとともに、21世紀の社会を生き抜く子どもたちを柏原市総ぐるみで育てていこうという熱い思いを結集してできあがった柏原の教育の基本理念です。

あるべき姿「かしわらっ子」をめざして、教育現場では日々の教育活動に取り組んでいますが、現実には、様々な課題への対応に追われて、本来の教育活動がうまく機

能しないといった状況もあります。

子どもたちは、毎年、学年が上がる度に、学習内容、友だちや担任の先生などとの人間関係、学習環境などの変化を経験します。これはやむを得ないものですし、子ども自身が乗り越えていかなければならない壁とも言えます。しかし、近年の核家族化、少子化、高度情報化など子どもを取り巻く社会変化の影響もあり、その壁を乗り越えることが大きなストレスとなって、学校生活に順応できない子どもが昔より増えています。

今、社会のあらゆる面でものごとが多様化、複雑化し、めまぐるしく変化する中で、「かしわらっ子」を育むためには、学校、家庭、地域という子どもに身近な環境が今まで以上に「つながり、協働」して、総ぐるみで関わっていくことが必要となっています。それは、学校教育においては、学年間や幼小中の校種間の連携の取組をさらに強化すること、特に、子どもたちの環境が大きく変化する就学前から小学校、小学校から中学校の接続部分では、あらゆる観点から配慮し段差をゆるやかにしていくことが求められます。

そこで、教育委員会は、柏原市全域で「幼小中一貫教育」を実施し、幼小中が互いに連携し、教育の方向性を共有して、11年間の子どもの発達を見とおした教育内容の充実を図っていきたいと考えています。すなわち、私たちは、学校、家庭、地域の協働に基づく一貫教育を実施し、子ども一人ひとりに確かな学力、健やかな体、豊かな心、社会性を育み、義務教育を終える15の春に、将来への夢と希望をもって巣立つ「かしわらっ子」を育成することをめざします。

『かしわらっ子』はぐくみ憲章 めざす子ども像

～15の春にひとすじの意志をもったひたむきな姿勢をつらぬく若者の育成～

自分あんじょう<自己実現> 自分大好き、何でもチャレンジ、夢を語れる「かしわらっ子」
相手あんじょう<思いやり> 自分の思いが言える、仲間の思いが聞ける「かしわらっ子」
社会あんじょう<社会貢献> 郷土柏原を愛し、地域・社会に貢献できる「かしわらっ子」

柏原市における幼小中一貫教育の進め方

柏原市には、全ての中学校区において均等に保育所や幼稚園・小学校があるわけではなく、中学校区ごとに違いがありますが、柏原全体をみとおしつつ、各校区の特色をいかした取組を進めるため、以下に掲げる基本方針を定めて幼小中一貫教育に取り組んでいきます。

また、基本方針にもとづく施策を実施計画と位置づけ、どの校区においても一人ひとりの子どもに、確かな学力、健やかな体、豊かな心、社会性を育み、義務教育を終える15の春に、将来への夢と希望をもって巣立つ「かしわらっ子」を育成することをめざして取り組んでいきます。

《 幼小中一貫教育基本方針 ～取り組むべき5つの方向性～ 》

『 自己実現 』

- 【1】 幼小中一貫した教育方針で子どもたちに「確かな学力と自ら学ぶ力」を育み、知・徳・体のバランスのとれた教育を進めます

『 思いやり 』

- 【2】 幼小中の育ちをとおして、子どもたちに自律性や自立心に富んだ「豊かな心」を育みます

『 社会貢献 』

- 【3】 幼小中11年間の地域での様々な体験活動をとおして、子どもたちに「豊かな社会性」を育みます

『 育みを下支え 』

- 【4】 幼小中の連携をはかり「教師力」を高めて、子どもたちの学びと育ちを支えます。
- 【5】 家庭や地域との役割を分担し地域一体となって学校を支援し、子どもたちの学びと育ちを支えます。

《実施計画 ～幼小中一貫教育基本方針にもとづく 15 の施策～》

『 学校力を高め、「確かな学力と自ら学ぶ力」を育む 』

- 【1】** 幼小中の発達段階に即した指導方法・指導形態
- 【2】** 校種間による教育内容(カリキュラム)の共有と転換
- 【3】** 一貫教育の軸となる新たな学習活動の創出

『 子どもの自律性・自立心を高め「豊かな心」と健やかな体を育む 』

- 【4】** 異年齢交流活動の推進
- 【5】** 放課後における多様な取組の推進
- 【6】** 児童会・生徒会活動の推進

『 地域の教育力を活用し、「豊かな社会性」を育む 』

- 【7】** 学校支援地域本部の積極的な取組の推進
- 【8】** 地域に密着した教育の推進
- 【9】** 子どもの居場所づくりの更なる推進

『 教師・家庭・地域の力を高めて、育みを下支えする 』

- 【10】** 校種間による学力観の共有と転換
- 【11】** 基本的な生活習慣、学習習慣、親子のふれあい推進
- 【12】** 地域社会の教育力の再構築と次世代育成

『 幼小の連携を強め、誰もが輝く学校生活をおくる 』

- 【13】** 幼小カリキュラム「あんじょう」の市域全域における実践
- 【14】** 幼小教職員による定期的な交流の実施

『 幼小中一貫教育の接続を明確にするための取組を進める 』

- 【15】** 公立幼稚園の在り方・適正化についての検討

第3章 幼小中一貫教育の取組の一例

柏原の幼小中一貫教育の取組は、学校・地域・家庭など様々な分野に及び、かつ、校区ごとに特色を生かした多岐にわたる取組になります。第2章で示した実施計画の取組について、一例として以下にお示しします。

幼小中一貫教育の考え方



確かな学力、健やかな体、豊かな心、社会性をはぐくみます。

系統的なカリキュラム

幼小中の指導内容の重複や指導法の違いなどを見直して子どもの実態や発達段階に即した指導計画の作成

中学生になると、内容が難しくなり、指導方法などの違いに、ついていけなかったり、わからないところを時間ごとに変わる教科の先生には、ききにくいといったことがあります。そのことから、学習意欲をなくし、学力が下がってしまうといった例があります。

$2 \times 3 = 6$

1さらあたり2このりんごが3さら

小学校では、身近な生活と具体的に結びつけて、数を使えるようにします。

$2 \times \chi = 2\chi$

中学校になるとより抽象的になり、数を使って調べたり、論理の正確性を重視します。

新教科

柏原の子どもたちが苦手とする活用力や表現力等を身に付けさせるための新たな学習活動

苦手なことは、今までの教科学習で身につけた基礎基本を総合的に組み合わせたり、組みかえたりして答えを導いたり、正解が一つとは限らない問題に対して、だれもが納得するように自分の考えを表現する力などです。

「ハンバーガー屋さんの店長になってみよう」
～あなたならどこに出店しますか？～

車で買い物する人が多いから国道沿いにしようかな？

スーパーとか、人の集まるところにしよう

若者がよく食べるから高校や大学の近くにしよう

学校のかきねを超えた教育活動

交流活動・合同行事・合同学習・中学校教員による小学校での授業など

小学校高学年が、定期的に中学校へ行って学習したり、部活に参加したりします。

また、小学校で中学校の先生が英語などの教科指導にあたり、一部教科担任制をとりいれたり、幼小中の先生がチームを組んで指導にあたります。



学校・家庭・地域が協力して...

地域

学校

家庭

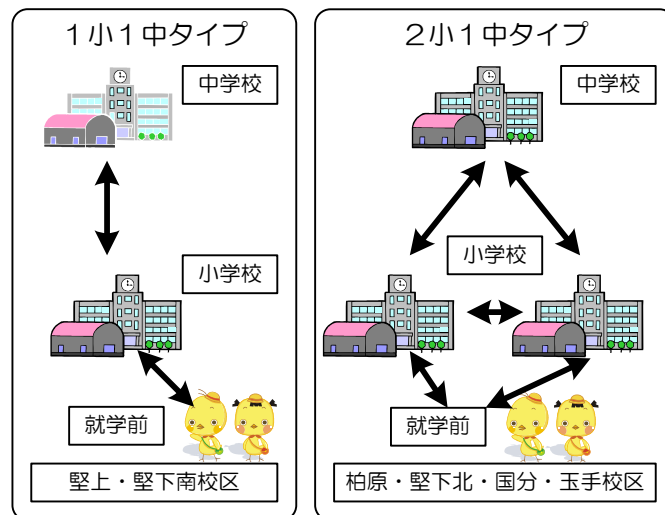
はぐくみを下支えします

お互いに高めあって「かしわらっ子」をはぐくみます

(1) 新しい学校運営体制

幼小中一貫教育を進めるため、柏原では小学校と中学校とを一体のものとしてとらえた新しい学校運営体制として、「1小1中タイプ」と「2小1中タイプ」の体制を整え、校区ごとに特色ある幼小中一貫教育を進めていきます。

また、就学前の幼児教育について、公立、私立の幼稚園・保育所(園)を問わず、主に教育課程の連携を重点とした取組を進めます。

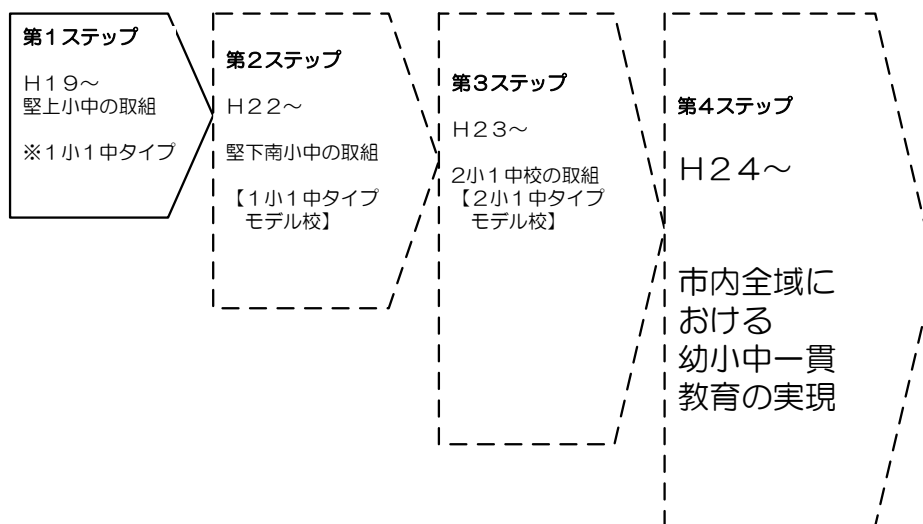


(2) スケジュール

柏原市では、これまで着実に一貫教育の取組を進めてきました。

その取組を加速化し、幼小中一貫教育の取組を全市域に広げることを目的として、堅下南小中学校区において、先行的にモデル校として平成22年度当初の開校をめざして取り組んでいきます。

その後、「2小1中タイプ」のモデル校の取組を進め、平成24年度より、全ての校区における幼小中一貫教育の実現をめざします。



問合せ先

柏原市教育委員会指導課

柏原市安堂町 1-43

Tel : 072(972) 1698

fax: 072(935)6666

mail :

shidou-2@kyoiku.city.kash

iwara.osaka.jp